

鎌倉映画茶論【上海の女】

「カフェサンスーシ」映画鑑賞の集い
名作は何度見ても新たな発見と感動を与えてくれます



9月20日(木)
16時より無料上映
李香蘭追悼!

於：カフェサンスーシ
(鎌倉雪の下3-10-23
清泉小正門)
要予約 0467-23-7223

毎月第三木曜16時～感動の名画・永遠の名優と共に過ごして下さい

～ 作品紹介 ～

1952年(昭和27年) 東宝 稲垣浩監督 101分

舞台は太平洋戦争も終末に近い1945年7月の上海、重慶の蒋介石政権の特務機関による工作が熾烈を極める中、これに對抗する日本の傀儡、南京の汪兆銘政権と協力すべく、特高の真鍋中尉(三國連太郎)は上海に赴任した南京政府側の丁士郎(二本柳寛)等と協力して任務に従事していたある夜、ナイトクラブ「百楽門」で歌う美しい歌姫李莉莉(山口淑子)に出会う長崎で生まれたが幼くして両親を失った莉莉は、王兆銘の親友で南京政府の要職にあった李克明(青山杉作)の養女として北京で育ったのでしたその夜「百楽門」で、重慶の特務工作員の妻となっていた女学校時代の親友王秀蘭(荒木道子)と再会し、両政府の抗争に巻き込まれていく莉莉上海の交差点に漢奸の札と共に投げ捨てられた南京政府要人の他殺体で始まり、銃殺される莉莉を庇って、真鍋も共に撃たれるシーンで終わります劇中莉莉が歌う李香蘭時代の「夜来香」「何日君再来」もお見逃しなく!